

文 献

- 1) 瀧上博司, 永井正規, 仁科基子, 他: 難病患者の実態調査—1997年度特定疾患医療受給者全国調査の解析—. 日本公衛誌 2002 ; 49(8) : 77-78
- 2) 柳川洋, 中村好一, 長谷川央子編: 特定疾患治療研究医療受給者調査報告. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班, 1986.
- 3) 柳川洋, 中村好一, 橋本勉, 他編: 特定疾患治療研究医療受給者調査報告書 (1988年度分) その1. 基本的な集計解析. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班, 1990.
- 4) 永井正規, 中村好一, 阿相栄子, 他編: 特定疾患治療研究医療受給者 調査報告書 (1992年度分) その1. 基本的集計. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班, 1995.
- 5) 永井正規, 瀧上博司, 仁科基子, 他編: 特定疾患治療研究医療受給者 調査報告書 (1997年度分) その1. 基本的集計. 厚生科学研究特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班, 2000.
- 6) 瀧上博司, 仁科基子, 太田晶子, 他: 医療受給者の経年変化—リンケージデータを用いた集計—. 厚生科学研究特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班平成13年度研究業績集. 2002 ; 150-171.

全身性エリテマトーデスの性比の変化の特徴

柴崎 智美、仁科 基子、太田 晶子、石島 英樹、泉田 美知子、
瀧上 博司、永井 正規（埼玉医科大学・公衆衛生学）

研究要旨

全身性エリテマトーデスの性比の変化に関係する要因を明らかにするための基礎資料として、過去4回の特定疾患医療受給者調査、2000年度地域保健事業報告から、疾患別、性別、年齢階級別受給者証の情報を得て、全身性エリテマトーデスの性比の変化を観察した。また、医療受給者調査のリンケージデータを用いて、受給継続率を観察した。新規受給者数は、男女ともに65歳以上の年齢で受給者数が増えており、特に88年度70～79歳、92、97年度の80歳以上では性比が0.5を越え、高齢新規受給者ではSLEの性比が高いことが明らかになった。また、49歳以下では全受給者の性比が年度を追う毎に高くなっており、特に0～9歳の幼児で顕著である。今後は男性の全身性エリテマトーデスについても着目し、罹患状況や発生病因の検討、性別の臨床像の観察を行う必要があると考えられる。特に、性別、年齢階級別の臨床像を観察する目的では、臨床調査個人票から得られる情報が有用であると考えられ、今後検討を行いたい。

はじめに

医療受給者については、これまでに1984年度、88年度、92年度、97年度と過去4回の医療受給者調査が実施され、性別、年齢別、都道府県別、保険の種類別、診療科別、疾患別の医療受給者数が報告されている^{1)~4)}。これまでの医療受給者全国調査から医療受給者の性比が年度を追う毎に高くなっていることが、明らかになっており^{5) 6)}、特に性比の増加傾向の強い疾患としては、潰瘍性大腸炎、全身性エリテマトーデス（Systemic Lupus Erythematosus：以下SLEと略す）、クローン病、特発性拡張型心筋症、後縦靭帯骨化症、悪性関節リウマチなどがあり、新規受給者に顕著であることが報告されている⁷⁾。しかし、医療受給者証を持つかどうかということについては、医療の進歩や社会制度の影響を強く受けていることが予測され、性比が高くなっていることが男性の罹患が増加していることとは単純に考えにくい。特に、性比が高くなっている疾患には、もともと性比が高い疾患、低い疾患等様々であり、疾患によって影響する要因が異なっていると考えられる。この中

で、SLEは、皮膚症状、関節症状、腎症状、心肺血管症状、造血器症状など多臓器にわたる症状を持ち、若年女性に好発する難病の代表疾患として有名である。そこで、受給者数が多く、もともと性比が0.1程度と大変低いにもかかわらず性比が増加してきているSLEについて、医療受給者の性比の変化に関係する要因を明らかにするための基礎資料として、性比の年齢階級別、年度別の特徴、性別受給継続率の年度別の特徴を明らかにし、今後検討すべき点を整理する。

方法

1984、88、92、97年度の過去4回の医療受給者全国調査のデータ、ならびに2000年度地域保健事業報告の疾患別、性別、年齢階級別医療受給者に関する情報⁸⁾を用いて、SLEの5歳あるいは10歳階級別の全受給者、新規受給者別年度別の受給者数を観察し、性比を算出する。また、医療受給者リンケージデータ⁹⁾より得られた疾患別、年度別、性別受給継続率から、SLEの性別受給継続率を調査年度別に比較する。

結果

SLEの全受給者数は84年度18,515(男1,203、女17,312、性比0.07)から、2000年度49,844(男5,232、女44,612、性比0.10)と受給者数、性比ともに増加している。新規受給者数は、84年度5,339(男561、女4,778、性比0.12)、88年度3,449、92年度3,663、97年度4,023(男574、女3,449、性比0.17)と受給者数には一定の傾向はないが性比は0.12、0.11、0.14、0.17と88年度以降増加している。

全受給者数は、84年度、88年度では女の35～39歳で最も多くなっており、それより年齢が低くなるほど、あるいは高くなるほど、受給者数が少なくなっている。92年度には女の、特に40～44歳で受給者数が多く、45歳以上では徐々に減少している。97年度には25～34歳の年齢で女の受給者が増え、さらに45～49歳では急激に受給者が増加している(図1)。新規受給者は84年度は25～39歳の女性に多く、なだらかな山となっているが、その後の調査では、新規受給者の多い年齢層はほぼ同じだが山が低くなり、さらに97年度には高年齢層で受給者が多い。また、男性でも同様に、84年度には30歳代で新規受給者が多かったが、97年度には65～74歳で受給者が多くなっている(図2)。

全受給者の性比は、0～9歳、70歳以上で高く、

次いで10～29歳、60～69歳で高い。特に49歳以下の年齢で年度を追う毎に性比が高くなっており、0～9歳の乳幼児で顕著である(図3)。新規受給者の性比は0～9歳よりも70歳以上で高くなっている(図4)。特に、84年度の70～79歳、92、97年度の80歳以上では性比が0.5を越えている。

年度別、性別5年受給継続率は、女の方が男よりも高く、調査年度が新しい受給者ほど継続率が高くなっている(図5)。92年度受給者の受給継続率と84年度受給者の受給継続率の比は男1.09、女1.07と男で受給継続率の伸びが大きい。

考察

SLEはもともと性比が低く、女性好発の疾患である。性比は2000年度0.12と他の疾患とくらべて高くはないが、年度を追う毎に着実に高くなっていた。また受給者数も多いため、男性受給者の実数は決して少なくなく、男性受給者数の増加の要因を明らかにすることは意味がある。49歳以下では全受給者の性比が年度を追う毎に高くなっており、特に0～9歳の幼児で顕著である。しかし、新規受給者では全受給者と性比の最も高い年齢が異なっており、特に88年度70～79歳、92、97年度の80歳以上では性比が0.5を越え、SLEの高齢新規受給者では他の年齢と比べ性比が高いことが明らかになった。

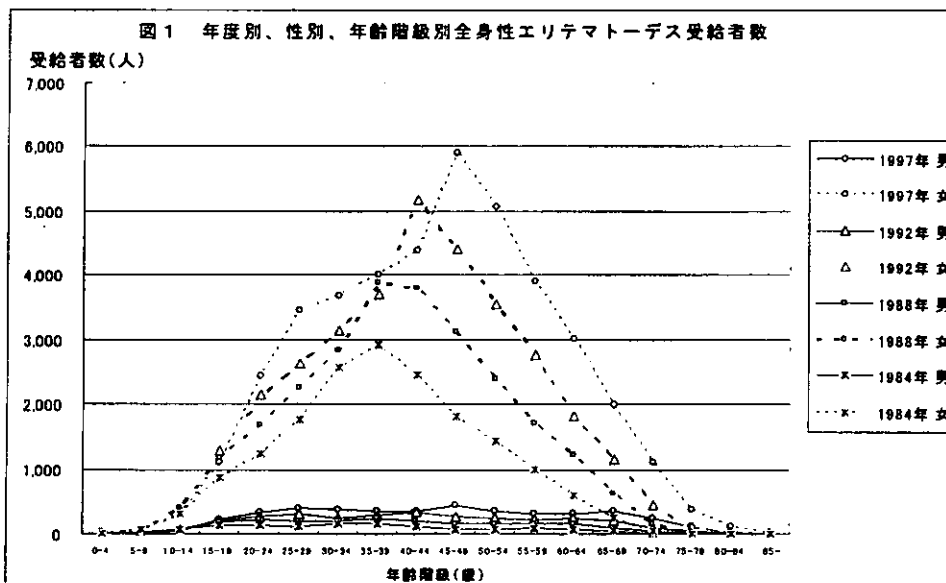


図2 年度別、性別、年齢階級別全身性エリテマトーデス新規受給者数

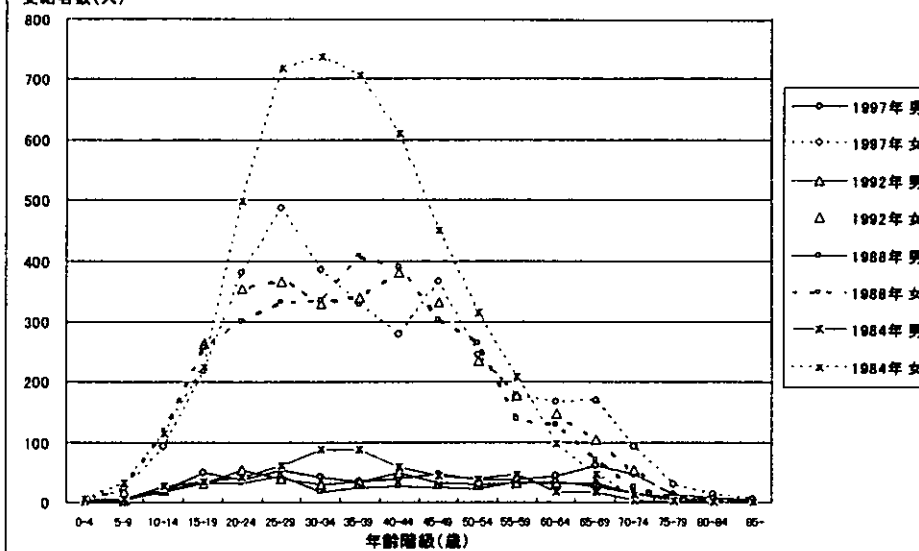


図3 全身性エリテマトーデスの受給者数性比年次推移

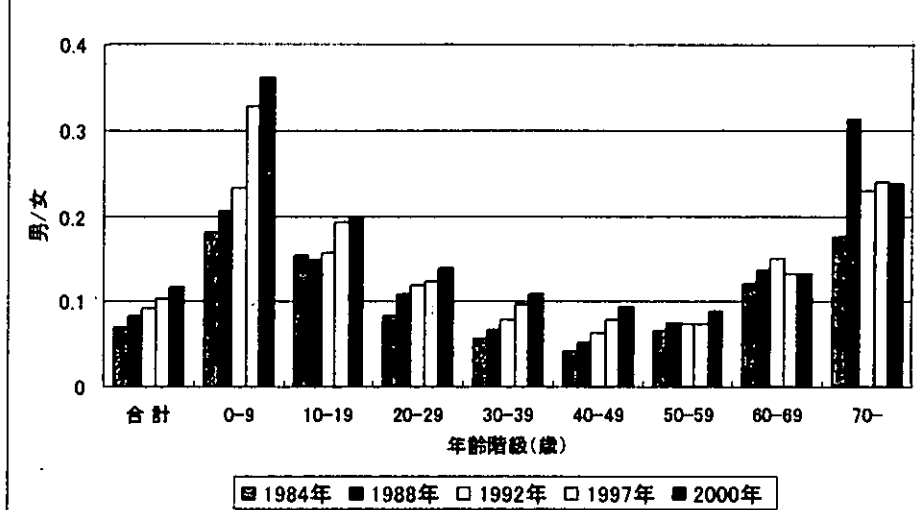


図4 全身性エリテマトーデスの新規受給者数性比年次推移

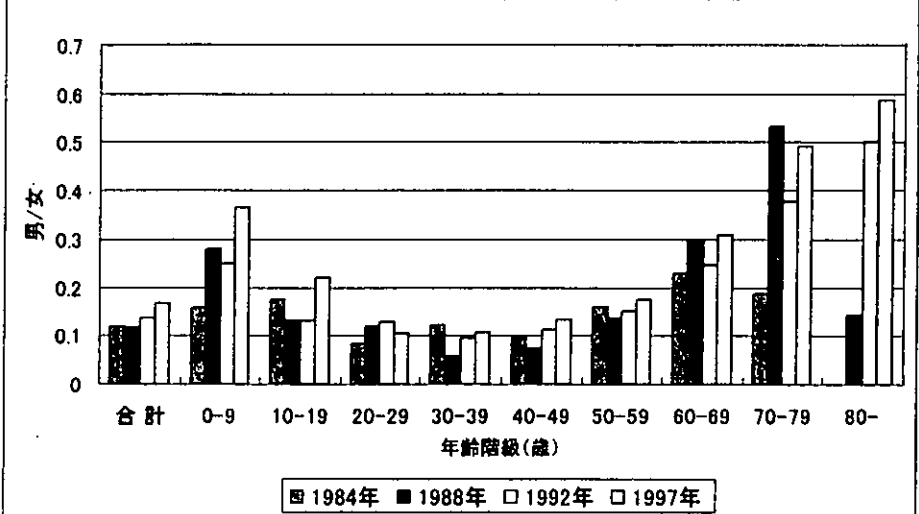
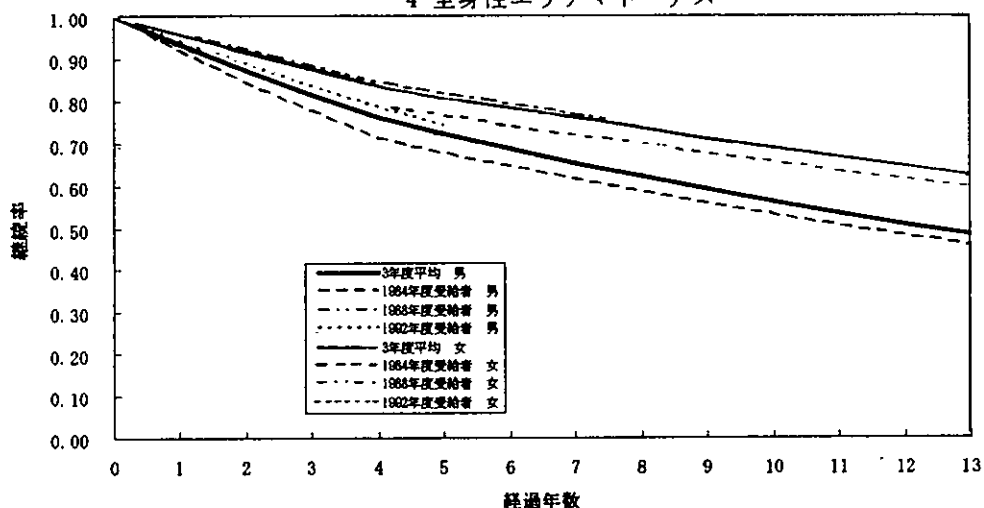


図5 84、88、92年度受給者および3年度平均受給継続率
4 全身性エリテマトーデス



特定疾患医療受給者数は、受給者証を所持している患者の数であって、必ずしもわが国の患者の総数を表しているわけではない。また、同様に新規受給者数は、新規発生患者数を正確に表しているわけでもない。これらは、真の罹患率を反映するだけでなく、医療保険制度などの社会制度の改革に大きく影響を受けていると考えられる。近年、我が国においては、医療設備、技術、検査に関する体制、保険適用等が整備され、病因不明、難治性慢性疾患である特定疾患に関しても、診断・治療を取り巻く環境整備が進んでおり、これらも受給者数に影響を及ぼしていることが予想される。さらに、特定疾患に関する研究は対策開始 30 年を迎え、急速に進歩しており、特に病因の解明や診断基準の整備、知識の普及などが進められてきた。特に SLE に関しては、もともと女に多いということがよく知られている疾患であり、男は診断されにくかった可能性が考えられるが、診断基準の整備や、自己抗体等の検査が容易に行えるようになったことなどから、たとえ特徴的な臨床症状が少なかったとしても、男性や高齢者についても診断しやすくなった可能性があると考えられる。

SLE の医療受給者、特に高齢の新規受給者の性比が上昇していることに関連して、今後は男性 SLE についても着目し、罹患状況や発生要因の検討、性別の臨床像の観察を行う必要があると考えられる。特に、性別、年齢階級別の臨床像を観察

する目的では、臨床調査個人票から得られる情報が有用であると考えられ、今後検討を行いたい。

文 献

- 1) 柳川洋, 中村好一, 長谷川央子編: 特定疾患治療研究医療受給者調査報告. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班, 1986.
- 2) 柳川洋, 中村好一, 橋本勉, 他編: 特定疾患治療研究医療受給者調査報告書 (1988年度分) その1. 基本的な集計解析. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班, 1990.
- 3) 永井正規, 中村好一, 阿相栄子, 他編: 特定疾患治療研究医療受給者 調査報告書 (1992年度分) その1. 基本的集計. 厚生省特定疾患難病の疫学調査研究班, 1995.
- 4) 永井正規, 瀧上博司, 仁科基子, 他編: 特定疾患治療研究医療受給者 調査報告書 (1997年度分) その1. 基本的集計. 厚生科学研究特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班, 2000.
- 5) 瀧上博司, 永井正規, 仁科基子, 他: 難病患者の実態調査—1997年度特定疾患医療受給者全国調査の解析—. 日本公衛誌 2002; 49(8): 774-78.
- 6) 瀧上博司, 仁科基子, 永井正規, 他: 医療受給者の経年変化—性比の推移に関する検討—.

厚生労働科学研究特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班，2002.

- 7) 瀧上博司，仁科基子，太田晶子，他：特定疾患治療研究医療受給者調査から見た受給者の継続状況．リンケージデータを用いた集計．厚生労働科学研究特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班平成13年度研究業績集．2002；150-171.

- 8) 太田晶子，仁科基子，永井正規，他：地域保健事業報告（現地域保健・老人保健事業報告）を利用した特定疾患医療受給者の実態把握（解析計画）．厚生労働科学研究特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班平成14年度研究業績集．2003；53-54.

地域保健・老人保健事業報告を基にした 2000年度全国特定疾患受給者数

太田 晶子、仁科 基子、柴崎 智美、石島 英樹、泉田 美知子、
淵上 博司、永井 正規（埼玉医科大学・公衆衛生学）

研究要旨

地域保健・老人保健事業報告を利用し、わが国における最新の疾患別・性別・年齢階級別・都道府県別の受給者数を明らかにした。特に、1998年度以降受給対象となった6疾患（神経線維腫症、亜急性硬化性全脳炎、バッド・キアリ症候群特発性慢性肺血栓塞栓症、ファブリー病、副腎白質ジストロフィー）の受給者の性・年齢の特徴を初めて明らかにすることができた。今後も受給者の疫学的特徴を継続的に把握していく必要があるが、性・年齢など基本的特徴の把握に地域保健・老人保健事業報告の受給者情報は有用である。

はじめに

特定疾患の疫学に関する研究班は、過去4回（1984年度、1988年度、1992年度、1997年度）の特定疾患医療受給者を対象）全国悉皆調査を行い、わが国の受給者の実態を報告してきた。2001年度からは、医療費公費負担受給申請時に提出される臨床個人調査票が電子入力されている。この情報の利用により、受給者の記述疫学的特徴、受療状況などの把握が容易になることが期待されている。

一方、厚生労働省は、1997年度から毎年、地域保健・老人保健事業報告（調査）で、性別・年齢階級別、疾患別の受給者数を保健所ごとに収集し、性別、都道府県別、疾患別の受給者数を報告している。1997年度の性別、疾患別、都道府県別の受給者数が、1997年度受給者全国調査のそれとほぼ同様の傾向を示したことから、地域保健・老人保健事業報告の受給者情報は、受給者の基本的特性を示す有用な資料と考えられた。また、年齢階級別の情報（収集されているが報告はされていない）を利用し、年齢階級別の集計解析も行えば、さらに有用な疫学的特性を明らかにすることができると思われる。

1997年度の受給者全国調査から5年が経過し、受給対象疾患も増加しており、受給者の実態を現時点で把握することが必要と考えられる。本研究は、地域保健・老人保健事業報告を利用し、新たに年齢階級別受給者数の情報を入手して、わが国における最新の疾患別・性別・年齢階級別・都道府県別の受給者数を明らかにすることを目的とする。

方法

2000年度地域保健・老人保健事業報告（調査）で収集された、疾患別・性別・年齢階級別・保健所別の受給者数の情報（年齢階級別、保健所別の受給者数の情報は報告書に未収録）を用い、疾患別・性別・年齢階級別・都道府県別の受給者数の集計を行った。2000年度の受給対象疾患は45疾患である。受給者数の対人口比の算出には、2000年国勢調査の総人口を用いた。都道府県別受給者数の比較は、都道府県別標準化受給者数比（実際の受給者数/〔全国の年齢階級別人口あたり受給者割合×当該都道府県の年齢階級別人口〕の全年齢階級についての総和）を用いた。

結果

報告された 2000 年度の受給者数は、473,879 人（男 190,455 人、女 283,424 人）であった。

1. 全疾患の年齢階級別・都道府県別受給者数を性別に示した。年齢階級別受給者数を表 1、表 2 に、都道府県別受給者数を表 3、表 4、表 5 に示した。

受給者数は、男女ともに 50 歳代、60 歳代の受給者が多く、60 歳代の受給者が最も多かった。人口 10 万対受給者数は、男は 70 歳以上で、女は 60 歳代で最も大きかった。2000 年度と 1997 年度の受給者数を比較すると、受給者数比（2000 年度/1997 年度）は、20 歳代以上の年齢階級では 1 より大きく、70 歳以上の階級で 1.40 と最も大きかった。

都道府県別に受給者数をみると、最も受給者が多いのは、東京都の 41,109 人、最も少ないのは、山梨県 2,329 人であった。人口 10 万対受給者数は、全国では、373 であるが、石川県、北海道ではやや高く、400 を超えていた。これに対し山梨県、岐阜県、茨城県、愛知県などは低く、300 未満であった。標準化受給者数比は、男女とも石川県、北海道、岡山県などで高く、山梨県、岐阜県で低かった。1997 年度と比べ、全ての都道府県で受給者は増加しており、受給者数比（2000 年度/1997 年度）が 1.2 以上であるのは 17 都道府県であり、最大は石川県 1.59 であった。

2. 疾患別受給者数を性別、年齢階級別に示した。疾患別・性別受給者数を表 6、表 7 に、疾患別・性・年齢階級別受給者数を表 8 に示した。

受給者の最も多い疾患は、潰瘍性大腸炎 67,096 人（14.2 %）、次いで、パーキンソン病 55,462 人（11.7 %）、全身性エリテマトーデス 49,844 人（10.5 %）、特発性血小板減少性紫斑病 31,142 人（6.6 %）、強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎 28,413 人（6.0 %）の順であった。性比（男/女）は、45 疾患のうち、25 疾患（55.6 %）で 1 より小さかった。受給者数比（2000 年度/1997 年度）は、ほとんどの疾患で 1 を越えており、原

発性肺高血圧症 4.80 で最も大きく、劇症肝炎 0.41、重症急性膵炎 0.68 など小さかった。

疾患別に年齢分布の特徴を人口当たりの受給者数でみると、多くは 40 歳代から 60 歳代に受給者が多くなっているが、多発性硬化症、全身性エリテマトーデス、特発性血小板減少症、特発性大腿骨頭壊死症、混合性結合組織病、原発性肺高血圧症は若年者にも多かった。また、潰瘍性大腸炎、クローン病、ウイリス動脈輪閉塞症、表皮水泡症、原発性免疫不全症候群は高齢者より若年者に多かった。人口当たりの受給者数を 1997 年度と比べると、ベーチェット病、重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症、結節性動脈周囲炎、脊髄小脳変性症、後縦靭帯骨化症、広範脊柱管狭窄症などで、高齢者の受給者の増加が目立った。

受給者数性比（男/女）を 1997 年度と比較すると、性比が 1 以上の疾患の多くで性比が低下しており、性比が 1 未満の疾患の多くで性比が上昇していた（図 1）。

1998 年度以降調査対象となった 6 疾患の受給者数は、神経線維腫症 1,411 人、亜急性硬化性全脳炎 87 人、バッド・キアリ症候群 134 人、特発性慢性肺血栓塞栓症 303 人、ファブリー病 79 人、副腎白質ジストロフィー 54 人であり、性比はそれぞれ、0.79、1.29、1.20、0.52、2.59、12.50 であった。これら 6 疾患の性・年齢階級別受給者数を図 2～7 に示した。神経線維腫症は男女とも 10 歳代～50 歳代に多く、10 歳代に最も多かった。亜急性硬化性全脳炎は、男女とも 10 歳代に最も多く、ほとんどが 40 歳未満であった。バッド・キアリ症候群は、男女とも 10 歳代から増加し、男は 60 歳代で最も多く、女は 50 歳代で最も多かった。特発性慢性肺血栓塞栓症は、男は 30 歳から、女は 40 歳から増加し、女は 60 歳代に最も多かった。ファブリー病は、男は 10 歳代から増加し、30 歳代で最も多く、女は 30 歳以上で受給者が僅かに認められた。副腎白質ジストロフィーは、男は 10 歳代～50 歳代に多く、30 歳代で最も多く、女は 20 歳以上で受給者が僅かに認められた。

まとめ

最新の疾患別受給者数を性・年齢階級別に明らかにした。受給者の疾患別の性・年齢の特徴は、1997年度受給者全国調査のそれとほぼ同様の結果であったが、一部の疾患で、高齢者の増加が目立った。1998年度以降受給対象となった6疾患の受給者の性・年齢の特徴を初めて明らかにすることができた。

今後も受給者の疫学的特徴を継続的に把握していく必要があるが、性・年齢など基本的特徴の把握に地域保健・老人保健事業報告の受給者情報は有用である。

文献

1) 太田晶子, 仁科基子, 柴崎智美, 他: 地域保健事業報告における特定疾患医療受給者情報の利用. 厚生学の指標. 2003; 50: 17-23.

表1. 受給者数(性別)、受給者数性比、1997年度受給者数、受給者数比(2000年度/1997年度); 年齢階級別

年齢	男	女	総数	性比 (男/女)	1997年度 受給者数	受給者数比 (2000/1997)
0-9歳	2,266	1,995	4,261	1.14	5,137	0.83
10-19	5,756	6,895	12,651	0.83	12,875	0.98
20-29	17,917	22,656	40,573	0.79	37,688	1.08
30-39	23,286	31,853	55,139	0.73	45,460	1.21
40-49	24,696	38,164	62,860	0.65	61,818	1.02
50-59	35,264	59,529	94,793	0.59	77,939	1.22
60-69	42,592	62,870	105,462	0.68	92,860	1.14
70-	36,245	55,826	92,071	0.65	65,942	1.40
合計	190,455	283,424	473,879	0.67	399,719	1.19

1997年度受給者数は1997年度受給者全国調査から得た。

表2. 人口10万対受給者数(性別)、受給者数性比; 年齢階級別

年齢	男	女	総数	性比 (男/女)
0-9歳	37.11	34.28	35.73	1.08
10-19	94.27	118.47	106.08	0.80
20-29	193.23	253.44	222.78	0.76
30-39	272.89	381.09	326.43	0.72
40-49	294.28	458.47	376.04	0.64
50-59	371.19	615.23	494.33	0.60
60-69	599.31	812.80	710.58	0.74
70-	618.01	617.93	617.96	1.00
合計	306.64	437.28	373.35	0.70

表3. 受給者数(性別)、受給者数性比、1997年度受給者数、
受給者数比(2000年度/1997年度); 都道府県別

都道府県	男	女	総数	性比 (男/女)	1997年度 受給者数	受給者数比 (2000/1997)
北海道	11,372	18,069	29,441	0.63	23,371	1.26
青森県	2,161	3,129	5,290	0.69	4,099	1.29
岩手県	2,048	3,147	5,195	0.65	4,441	1.17
宮城県	3,506	5,117	8,623	0.69	6,936	1.24
秋田県	1,731	2,724	4,455	0.64	3,797	1.17
山形県	1,708	2,496	4,204	0.68	3,537	1.19
福島県	3,402	4,713	8,115	0.72	7,065	1.15
茨城県	3,348	5,402	8,750	0.62	7,224	1.21
栃木県	3,012	4,553	7,565	0.66	6,996	1.08
群馬県	3,310	4,862	8,172	0.68	7,219	1.13
埼玉県	8,085	12,669	20,754	0.64	18,314	1.13
千葉県	9,623	12,830	22,453	0.75	17,263	1.30
東京都	16,319	24,790	41,109	0.66	34,630	1.19
神奈川県	12,139	18,956	31,095	0.64	26,961	1.15
新潟県	4,188	6,074	10,262	0.69	9,639	1.06
富山県	1,928	2,715	4,643	0.71	4,488	1.03
石川県	2,673	4,014	6,687	0.67	4,215	1.59
福井県	1,063	1,620	2,683	0.66	2,316	1.16
山梨県	951	1,378	2,329	0.69	2,127	1.09
長野県	3,386	5,220	8,606	0.65	6,560	1.31
岐阜県	2,293	3,743	6,036	0.61	4,528	1.33
静岡県	5,338	7,925	13,263	0.67	12,190	1.09
愛知県	8,284	12,462	20,746	0.66	17,348	1.20
三重県	2,903	4,299	7,202	0.68	6,589	1.09
滋賀県	2,165	2,811	4,976	0.77	3,921	1.27
京都府	4,538	6,357	10,895	0.71	8,678	1.26
大阪府	13,307	20,252	33,559	0.66	29,835	1.12
兵庫県	8,196	12,101	20,297	0.68	16,236	1.25
奈良県	2,158	3,162	5,320	0.68	4,055	1.31
和歌山県	1,650	2,457	4,107	0.67	3,254	1.26
鳥取県	918	1,440	2,358	0.64	2,280	1.03
島根県	1,337	2,100	3,437	0.64	3,067	1.12
岡山県	3,888	5,411	9,299	0.72	7,971	1.17
広島県	4,573	6,255	10,828	0.73	8,395	1.29
山口県	2,281	3,602	5,883	0.63	5,426	1.08
徳島県	1,581	2,227	3,808	0.71	3,190	1.19
香川県	1,628	2,350	3,978	0.69	3,630	1.10
愛媛県	2,413	3,497	5,910	0.69	5,328	1.11
高知県	1,521	2,189	3,710	0.69	3,538	1.05
福岡県	7,724	10,986	18,710	0.70	15,466	1.21
佐賀県	1,291	1,899	3,190	0.68	2,614	1.22
長崎県	2,709	4,085	6,794	0.66	6,067	1.12
熊本県	3,295	4,657	7,952	0.71	6,719	1.18
大分県	1,964	3,037	5,001	0.65	4,436	1.13
宮崎県	1,916	2,774	4,690	0.69	4,101	1.14
鹿児島県	3,101	4,396	7,497	0.71	6,326	1.19
沖縄県	1,530	2,472	4,002	0.62	3,333	1.20
全 国	190,455	283,424	473,879	0.67	399,719	1.19

1997年度受給者数は1997年度受給者全国調査から得た。

表4. 人口10万対受給者数(性別)、受給者数性比:都道府県別

都道府県	男	女	総数	性比 (男/女)
北海道	418.18	609.68	518.05	0.69
青森県	307.58	404.71	358.47	0.76
岩手県	300.63	428.20	366.83	0.70
宮城県	302.60	424.05	364.56	0.71
秋田県	306.61	436.03	374.60	0.70
山形県	284.02	388.32	337.90	0.73
福島県	327.81	432.72	381.53	0.76
茨城県	224.95	360.77	293.07	0.62
栃木県	302.45	451.26	377.34	0.67
群馬県	331.22	474.11	403.59	0.70
埼玉県	230.99	368.52	299.13	0.63
千葉県	323.25	435.02	378.87	0.74
東京都	270.69	410.73	340.75	0.66
神奈川県	281.73	453.36	366.26	0.62
新潟県	348.42	476.87	414.50	0.73
富山県	356.90	467.59	414.24	0.76
石川県	467.11	659.40	566.23	0.71
福井県	264.19	379.77	323.66	0.70
山梨県	217.70	305.32	262.22	0.71
長野県	313.23	460.24	388.50	0.68
岐阜県	224.32	344.81	286.38	0.65
静岡県	287.45	414.84	352.05	0.69
愛知県	234.96	354.28	294.55	0.66
三重県	322.06	449.71	387.76	0.72
滋賀県	326.33	413.75	370.56	0.79
京都府	355.05	465.29	412.00	0.76
大阪府	309.17	449.94	381.13	0.69
兵庫県	306.44	420.77	365.67	0.73
奈良県	312.26	420.65	368.73	0.74
和歌山県	325.52	436.39	383.86	0.75
鳥取県	312.88	450.16	384.48	0.70
島根県	367.31	528.29	451.34	0.70
岡山県	415.37	533.22	476.67	0.78
広島県	328.40	420.81	376.11	0.78
山口県	315.63	447.30	385.02	0.71
徳島県	403.61	515.04	462.08	0.78
香川県	331.06	442.45	388.90	0.75
愛媛県	342.62	443.33	395.82	0.77
高知県	396.24	508.96	455.80	0.78
福岡県	323.34	418.22	373.03	0.77
佐賀県	311.55	410.79	363.88	0.76
長崎県	380.29	507.97	448.00	0.75
熊本県	375.22	474.62	427.68	0.79
大分県	340.98	470.74	409.54	0.72
宮崎県	347.00	448.98	400.85	0.77
鹿児島県	370.06	463.61	419.72	0.80
沖縄県	236.16	368.77	303.59	0.64
全国	306.64	437.28	373.35	0.70

表5. 標準化受給者数比(性別):都道府県別

都道府県	男	女
北海道	1.35 **	1.38 **
青森県	0.99	0.91 **
岩手県	0.95 *	0.95 **
宮城県	1.01	1.00
秋田県	0.93 **	0.93 **
山形県	0.88 **	0.86 **
福島県	1.06 **	0.99
茨城県	0.75 **	0.85 **
栃木県	1.00	1.05 **
群馬県	1.08 **	1.09 **
埼玉県	0.79 **	0.88 **
千葉県	1.09 **	1.03 **
東京都	0.89 **	0.95 **
神奈川県	0.95 **	1.08 **
新潟県	1.10 **	1.06 **
富山県	1.12 **	1.03
石川県	1.54 **	1.51 **
福井県	0.85 **	0.86 **
山梨県	0.71 **	0.70 **
長野県	0.99	1.03 *
岐阜県	0.73 **	0.79 **
静岡県	0.93 **	0.95 **
愛知県	0.80 **	0.85 **
三重県	1.04 *	1.03
滋賀県	1.11 **	0.99
京都府	1.17 **	1.07 **
大阪府	1.03 **	1.05 **
兵庫県	1.01	0.98 **
奈良県	1.03	0.98
和歌山県	1.02	0.97
鳥取県	1.00	1.00
島根県	1.12 **	1.14 **
岡山県	1.33 **	1.21 **
広島県	1.07 **	0.96 **
山口県	0.98	0.97
徳島県	1.26 **	1.14 **
香川県	1.05	0.99
愛媛県	1.08 **	0.98
高知県	1.22 **	1.10 **
福岡県	1.08 **	0.97 **
佐賀県	1.02	0.94 **
長崎県	1.23 **	1.15 **
熊本県	1.21 **	1.07 **
大分県	1.07 **	1.04 *
宮崎県	1.12 **	1.01
鹿児島県	1.17 **	1.04 **
沖縄県	0.87 **	0.95 *

*:p<0.05, **:p<0.01

表6. 受給者数(性別)、受給者数性比、1997年度受給者数、
受給者数比(2000年度/1997年度); 疾患別

	男	女	総数	性比 男/女	1997年度 受給者数	受給者数比 2000/1997
1 ベーチェット病	7,408 (3.9)	9,954 (3.5)	17,362 (3.7)	0.74	16,287	1.07
2 多発性硬化症	2,783 (1.5)	6,048 (2.1)	8,831 (1.9)	0.46	6,959	1.27
3 重症筋無力症	4,119 (2.2)	8,602 (3.0)	12,721 (2.7)	0.48	11,218	1.13
4 全身性エリテマトーデス	5,232 (2.7)	44,612 (15.7)	49,844 (10.5)	0.12	45,109	1.10
5 スモン	483 (0.3)	1,591 (0.6)	2,074 (0.4)	0.30	2,028	1.02
6 再生不良性貧血	4,200 (2.2)	6,044 (2.1)	10,244 (2.2)	0.69	9,508	1.08
7 サルコイドーシス	5,971 (3.1)	13,221 (4.7)	19,192 (4.0)	0.45	16,039	1.20
8 筋萎縮性側索硬化症	3,366 (1.8)	2,221 (0.8)	5,587 (1.2)	1.52	4,784	1.17
9 強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	5,434 (2.9)	22,979 (8.1)	28,413 (6.0)	0.24	24,558	1.16
10 特発性血小板減少性紫斑病	9,236 (4.8)	21,906 (7.7)	31,142 (6.6)	0.42	28,804	1.08
11 結節性動脈周囲炎	1,438 (0.8)	1,829 (0.6)	3,267 (0.7)	0.79	2,522	1.30
12 潰瘍性大腸炎	34,268 (18.0)	32,828 (11.6)	67,096 (14.2)	1.04	52,261	1.28
13 大動脈炎症候群	461 (0.2)	4,788 (1.7)	5,249 (1.1)	0.10	4,990	1.05
14 ビュルガー病	8,886 (4.7)	1,239 (0.4)	10,125 (2.1)	7.17	10,363	0.98
15 天疱瘡	1,257 (0.7)	1,904 (0.7)	3,161 (0.7)	0.66	2,842	1.11
16 脊髄小脳変性症	10,148 (5.3)	9,844 (3.5)	19,992 (4.2)	1.03	16,145	1.24
17 クローン病	13,540 (7.1)	6,225 (2.2)	19,765 (4.2)	2.18	15,576	1.27
18 劇症肝炎	163 (0.1)	186 (0.1)	349 (0.1)	0.88	842	0.41
19 悪性関節リウマチ	1,298 (0.7)	3,850 (1.4)	5,148 (1.1)	0.34	5,326	0.97
20 パーキンソン病	22,229 (11.7)	33,233 (11.7)	55,462 (11.7)	0.67	47,231	1.17
21 アミロイドーシス	384 (0.2)	511 (0.2)	895 (0.2)	0.75	769	1.16
22 後縦靭帯骨化症	13,451 (7.1)	7,239 (2.6)	20,690 (4.4)	1.86	16,465	1.26
23 ハンチントン舞蹈病	303 (0.2)	300 (0.1)	603 (0.1)	1.01	507	1.19
24 ウィリス動脈輪閉塞症	2,949 (1.5)	5,316 (1.9)	8,265 (1.7)	0.55	6,723	1.23
25 ウェゲナー肉芽腫症	375 (0.2)	486 (0.2)	861 (0.2)	0.77	720	1.20
26 特発性拡張型心筋症	8,784 (4.6)	3,377 (1.2)	12,161 (2.6)	2.60	9,447	1.29
27 シャイ・ドレーガー症候群	454 (0.2)	204 (0.1)	658 (0.1)	2.23	584	1.13
28 表皮水疱症	173 (0.1)	163 (0.1)	336 (0.1)	1.06	313	1.07
29 膿疱性乾癬	623 (0.3)	595 (0.2)	1,218 (0.3)	1.05	995	1.22
30 広範脊柱管狭窄症	1,162 (0.6)	551 (0.2)	1,713 (0.4)	2.11	1,176	1.46
31 原発性胆汁性肝硬変	1,280 (0.7)	9,444 (3.3)	10,724 (2.3)	0.14	8,320	1.29
32 重症急性膵炎	623 (0.3)	283 (0.1)	906 (0.2)	2.20	1,334	0.68
33 特発性大腿骨頭壊死症	5,715 (3.0)	3,269 (1.2)	8,984 (1.9)	1.75	6,555	1.37
34 混合性結合組織病	562 (0.3)	5,020 (1.8)	5,582 (1.2)	0.11	4,007	1.39
35 原発性免疫不全症候群	765 (0.4)	417 (0.1)	1,182 (0.2)	1.83	1,157	1.02
36 特発性間質性肺炎	1,679 (0.9)	1,107 (0.4)	2,786 (0.6)	1.52	2,360	1.18
37 網膜色素変性症	8,060 (4.2)	10,485 (3.7)	18,545 (3.9)	0.77	14,636	1.27
38 クロイツフェルト・ヤコブ病	83 (0.0)	134 (0.0)	217 (0.0)	0.62	163	1.33
39 原発性肺高血圧症	154 (0.1)	307 (0.1)	461 (0.1)	0.50	96	4.80
40 神経線維腫症	623 (0.3)	788 (0.3)	1,411 (0.3)	0.79		
41 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)	49 (0.0)	38 (0.0)	87 (0.0)	1.29		
42 バッド・キアリ症候群	73 (0.0)	61 (0.0)	134 (0.0)	1.20		
43 特発性慢性肺血栓栓塞症	104 (0.1)	199 (0.1)	303 (0.1)	0.52		
44 ファブリー病	57 (0.0)	22 (0.0)	79 (0.0)	2.59		
45 副腎白質ジストロフィー	50 (0.0)	4 (0.0)	54 (0.0)	12.50		
合計	190,455 (100)	283,424 (100)	473,879 (100)	0.67	399,719	1.19

()の数値は合計に占める割合(%)を示す。

1997年度受給者数は1997年度受給者全国調査から得た。

表7. 人口10万対受給者数(性別);疾患別

疾患名	男	女	総数
1 ベーチェット病	11.93	15.36	13.68
2 多発性硬化症	4.48	9.33	6.96
3 重症筋無力症	6.63	13.27	10.02
4 全身性エリテマトーデス	8.42	68.83	39.27
5 スモン	0.78	2.45	1.63
6 再生不良性貧血	6.76	9.32	8.07
7 サルコイドーシス	9.61	20.40	15.12
8 筋萎縮性側索硬化症	5.42	3.43	4.40
9 強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	8.75	35.45	22.39
10 特発性血小板減少性紫斑病	14.87	33.80	24.54
11 結節性動脈周囲炎	2.32	2.82	2.57
12 潰瘍性大腸炎	55.17	50.65	52.86
13 大動脈炎症候群	0.74	7.39	4.14
14 ビュルガー病	14.31	1.91	7.98
15 天疱瘡	2.02	2.94	2.49
16 脊髄小脳変性症	16.34	15.19	15.75
17 クローン病	21.80	9.60	15.57
18 劇症肝炎	0.26	0.29	0.27
19 悪性関節リウマチ	2.09	5.94	4.06
20 パーキンソン病	35.79	51.27	43.70
21 アミロイドーシス	0.62	0.79	0.71
22 後縦靭帯骨化症	21.66	11.17	16.30
23 ハンチントン舞踏病	0.49	0.46	0.48
24 ウィリス動脈輪閉塞症	4.75	8.20	6.51
25 ウェゲナー肉芽腫症	0.60	0.75	0.68
26 特発性拡張型心筋症	14.14	5.21	9.58
27 シャイドレーガー症候群	0.73	0.31	0.52
28 表皮水疱症	0.28	0.25	0.26
29 膿疱性乾癬	1.00	0.92	0.96
30 広範脊柱管狭窄症	1.87	0.85	1.35
31 原発性胆汁性肝硬変	2.06	14.57	8.45
32 重症急性膵炎	1.00	0.44	0.71
33 特発性大腿骨頭壊死症	9.20	5.04	7.08
34 混合性結合組織病	0.90	7.75	4.40
35 原発性免疫不全症候群	1.23	0.64	0.93
36 特発性間質性肺炎	2.70	1.71	2.19
37 網膜色素変性症	12.98	16.18	14.61
38 クロイツフェルト・ヤコブ病	0.13	0.21	0.17
39 原発性肺高血圧症	0.25	0.47	0.36
40 神経線維腫症	1.00	1.22	1.11
41 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)	0.08	0.06	0.07
42 バッド・キアリ症候群	0.12	0.09	0.11
43 特発性慢性肺血栓栓塞症	0.17	0.31	0.24
44 ファブリー病	0.09	0.03	0.06
45 副腎白質ジストロフィー	0.08	0.01	0.04
合計	306.64	437.28	373.35

表8-1. 受給者数、性・年齢階級・疾患別（総数）

疾患名	0-9歳	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計
1 ベーチェット病	19	144	1,002	2,118	3,467	4,941	3,835	1,702	17,362
2 多発性硬化症	72	299	1,220	1,917	1,762	1,870	1,102	458	8,831
3 重症筋無力症	238	514	976	1,387	1,848	2,787	2,572	2,273	12,721
4 全身性エリテマトーデス	49	1,510	6,637	9,201	10,618	11,762	6,605	2,845	49,844
5 スモン	2	0	4	14	29	164	525	1,272	2,074
6 再生不良性貧血	229	850	1,191	1,087	1,106	1,459	1,955	2,207	10,244
7 サルコイドーシス	6	70	1,597	2,969	2,244	3,735	5,103	3,141	19,192
8 筋萎縮性側索硬化症	6	7	26	118	466	1,285	1,977	1,638	5,587
9 強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	97	381	863	1,484	3,562	8,270	8,616	4,781	28,413
10 特発性血小板減少性紫斑病	2,234	2,245	2,592	3,328	3,836	5,746	5,938	4,807	31,142
11 結節性動脈周囲炎	23	54	130	232	316	657	907	896	3,267
12 潰瘍性大腸炎	89	2,484	12,077	15,636	12,714	10,935	7,701	4,614	67,096
13 大動脈炎症候群	9	71	428	727	960	1,383	1,107	507	5,249
14 ビュルガー病	1	12	169	644	1,468	3,252	2,843	1,632	10,125
15 天疱瘡	2	6	62	171	428	833	844	785	3,161
16 脊髄小脳変性症	39	169	457	881	1,868	4,469	6,511	5,379	19,992
17 クローン病	29	906	6,380	6,251	2,936	1,564	950	526	19,765
18 劇症肝炎	20	27	44	49	49	69	50	36	349
19 悪性関節リウマチ	0	3	83	167	438	1,334	1,922	1,116	5,148
20 パーキンソン病	2	10	39	189	981	5,105	16,810	31,538	55,462
21 アミロイドーシス	0	1	10	60	111	196	292	217	895
22 後縦靭帯骨化症	0	3	14	148	1,153	4,571	7,517	6,978	20,690
23 ハンチントン舞踏病	2	6	8	42	102	163	175	101	603
24 ウィリス動脈輪閉塞症	485	1,548	1,357	1,049	1,114	1,477	875	263	8,265
25 ウェゲナー肉芽腫症	2	16	54	86	147	240	185	118	861
26 特発性拡張型心筋症	76	104	286	769	1,517	3,035	3,921	2,228	12,161
27 シャイ・ドレーガー症候群	0	0	3	5	24	146	228	238	658
28 表皮水疱症	59	70	59	49	34	33	15	14	336
29 膿疱性乾癬	10	48	130	168	236	226	230	147	1,218
30 広範脊柱管狭窄症	3	2	15	20	111	322	595	625	1,713
31 原発性胆汁性肝硬変	2	9	74	239	1,218	3,280	3,627	2,191	10,724
32 重症急性膵炎	2	7	44	116	197	178	197	152	906
33 特発性大腿骨頭壊死症	3	31	533	1,318	1,898	2,293	1,781	968	8,984
34 混合性結合組織病	4	119	708	874	1,139	1,404	939	341	5,582
35 原発性免疫不全症候群	258	371	291	123	52	36	23	14	1,182
36 特発性間質性肺炎	16	8	21	32	121	470	1,084	1,007	2,786
37 網膜色素変性症	26	229	570	1,073	2,225	4,630	5,532	4,087	18,545
38 クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	5	6	17	52	67	64	217
39 原発性肺高血圧症	17	48	71	82	73	67	64	30	461
40 神経線維腫症	123	212	273	223	190	218	111	53	1,411
41 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)	5	41	32	7	1	0	1	0	87
42 バッド・キアリ症候群	0	4	10	18	16	36	33	17	134
43 特発性慢性肺血栓塞栓症	0	0	4	18	45	82	90	60	303
44 ファブリー病	0	3	13	26	16	11	6	4	79
45 副腎白質ジストロフィー	2	7	11	18	7	7	1	1	54
合計	4,261	12,651	40,573	55,139	62,860	94,793	105,462	92,071	473,879

表8-2. 受給者数、性・年齢階級・疾患別（男）

疾患名	0-9歳	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計
1 ベーチェット病	16	64	453	1,010	1,664	2,140	1,469	537	7,408
2 多発性硬化症	32	117	380	628	574	570	313	130	2,783
3 重症筋無力症	92	188	259	393	587	897	979	683	4,119
4 全身性エリテマトーデス	13	250	809	904	911	958	769	546	5,232
5 スモン	1	0	0	2	10	42	147	262	483
6 再生不良性貧血	140	446	611	457	441	538	751	755	4,200
7 サルコイドーシス	5	29	1,024	1,557	844	851	998	570	5,971
8 筋萎縮性側索硬化症	2	2	14	71	271	806	1,217	950	3,366
9 強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	40	149	214	319	644	1,403	1,583	1,006	5,434
10 特発性血小板減少性紫斑病	1,236	999	614	610	921	1,413	1,739	1,589	9,236
11 結節性動脈周囲炎	19	27	54	78	136	298	408	392	1,438
12 潰瘍性大腸炎	54	1,372	6,540	8,205	6,595	5,220	3,643	2,222	34,268
13 大動脈炎症候群	1	10	46	58	82	113	108	39	461
14 ピュルガー病	1	11	152	576	1,323	2,792	2,490	1,454	8,886
15 天疱瘡	1	5	26	75	168	306	320	347	1,257
16 脊髄小脳変性症	20	86	237	447	994	2,342	3,333	2,571	10,148
17 クローン病	15	607	4,520	4,634	2,024	875	460	233	13,540
18 劇症肝炎	11	12	22	25	22	37	19	12	163
19 悪性関節リウマチ	0	0	24	42	108	302	495	308	1,298
20 パーキンソン病	1	2	9	92	493	2,324	7,487	11,516	22,229
21 アミロイドーシス	0	0	4	27	51	76	127	98	384
22 後縦靭帯骨化症	0	0	11	97	743	2,790	4,979	4,627	13,451
23 ハンチントン舞蹈病	0	1	3	20	60	91	75	53	303
24 ウィリス動脈輪閉塞症	208	646	477	335	390	504	288	66	2,949
25 ウェゲナー肉芽腫症	0	3	24	32	78	113	73	43	375
26 特発性拡張型心筋症	32	60	216	621	1,205	2,288	2,790	1,414	8,784
27 シャイ・ドレーガー症候群	0	0	3	2	15	91	161	173	454
28 表皮水疱症	29	36	33	19	20	17	10	8	173
29 膿疱性乾癬	3	22	55	78	119	137	119	79	623
30 広範脊柱管狭窄症	3	1	10	13	87	222	416	396	1,162
31 原発性胆汁性肝硬変	1	4	22	22	148	313	428	335	1,280
32 重症急性膵炎	0	2	27	96	157	128	126	80	623
33 特発性大腿骨頭壊死症	1	12	294	878	1,402	1,646	1,039	350	5,715
34 混合性結合組織病	0	26	60	81	100	135	104	49	562
35 原発性免疫不全症候群	178	260	200	66	21	14	6	9	765
36 特発性間質性肺炎	12	3	10	17	61	269	650	637	1,679
37 網膜色素変性症	17	144	270	514	1,070	2,002	2,344	1,622	8,060
38 クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	2	3	6	19	27	24	83
39 原発性肺高血圧症	11	23	23	27	26	19	13	9	154
40 神経線維腫症	66	98	120	90	84	102	48	15	623
41 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)	3	25	18	3	0	0	0	0	49
42 バッド・キアリ症候群	0	2	3	10	10	19	20	9	73
43 特発性慢性肺血栓塞栓症	0	0	1	14	14	29	20	24	104
44 ファブリー病	0	3	13	21	11	6	1	2	57
45 副腎白質ジストロフィー	2	7	10	17	6	7	0	1	50
合計	2,266	5,756	17,917	23,286	24,696	35,264	42,592	36,245	190,455

表8-3. 受給者数、性・年齢階級・疾患別（女）

疾患名	0-9歳	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-	合計
1 ベーチェット病	3	80	549	1,108	1,803	2,801	2,366	1,165	9,954
2 多発性硬化症	40	182	840	1,289	1,188	1,300	789	328	6,048
3 重症筋無力症	146	326	717	994	1,261	1,890	1,593	1,590	8,602
4 全身性エリテマトーデス	36	1,260	5,828	8,297	9,707	10,804	5,836	2,299	44,612
5 スモン	1	0	4	12	19	122	378	1,010	1,591
6 再生不良性貧血	89	404	580	630	665	921	1,204	1,452	6,044
7 サルコイドーシス	1	41	573	1,412	1,400	2,884	4,105	2,571	13,221
8 筋萎縮性側索硬化症	4	5	12	47	195	479	760	688	2,221
9 強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	57	232	649	1,165	2,918	6,867	7,033	3,775	22,979
10 特発性血小板減少性紫斑病	998	1,246	1,978	2,718	2,915	4,333	4,199	3,218	21,906
11 結節性動脈周囲炎	4	27	76	154	180	359	499	504	1,829
12 潰瘍性大腸炎	35	1,112	5,537	7,431	6,119	5,715	4,058	2,392	32,828
13 大動脈炎症候群	8	61	382	669	878	1,270	999	468	4,788
14 ビュルガー病	0	1	17	68	145	460	353	178	1,239
15 天疱瘡	1	1	36	96	260	527	524	438	1,904
16 脊髄小脳変性症	19	83	220	434	874	2,127	3,178	2,808	9,844
17 クローン病	14	299	1,860	1,617	912	689	490	293	6,225
18 劇症肝炎	9	15	22	24	27	32	31	24	186
19 悪性関節リウマチ	0	3	59	125	330	1,032	1,427	808	3,850
20 パーキンソン病	1	8	30	97	488	2,781	9,323	20,022	33,233
21 アミロイドーシス	0	1	6	33	60	120	165	119	511
22 後縦靭帯骨化症	0	3	3	51	410	1,781	2,538	2,351	7,239
23 ハンチントン舞蹈病	2	5	5	22	42	72	100	48	300
24 ウィリス動脈輪閉塞症	277	902	880	714	724	973	587	197	5,316
25 ウェゲナー肉芽腫症	2	13	30	54	69	127	112	75	486
26 特発性拡張型心筋症	44	44	70	148	312	747	1,131	814	3,377
27 シャイ・ドレーガー症候群	0	0	0	3	9	55	67	65	204
28 表皮水疱症	30	34	26	30	14	16	5	6	163
29 膿疱性乾癬	7	26	75	90	117	89	111	68	595
30 広範脊柱管狭窄症	0	1	5	7	24	100	179	229	551
31 原発性胆汁性肝硬変	1	5	52	217	1,070	2,967	3,199	1,856	9,444
32 重症急性膵炎	2	5	17	20	40	50	71	72	283
33 特発性大腿骨頭壊死症	2	19	239	440	496	647	742	618	3,269
34 混合性結合組織病	4	93	648	793	1,039	1,269	835	292	5,020
35 原発性免疫不全症候群	80	111	91	57	31	22	17	5	417
36 特発性間質性肺炎	4	5	11	15	60	201	434	370	1,107
37 網膜色素変性症	9	85	300	559	1,155	2,628	3,188	2,465	10,485
38 クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	3	3	11	33	40	40	134
39 原発性肺高血圧症	6	25	48	55	47	48	51	21	307
40 神経線維腫症	57	114	153	133	106	116	63	38	788
41 亜急性硬化性全脳炎(SSPE)	2	16	14	4	1	0	1	0	38
42 バッド・キアリ症候群	0	2	7	8	6	17	13	8	61
43 特発性慢性肺血栓栓症	0	0	3	4	31	53	70	36	199
44 ファブリー病	0	0	0	5	5	5	5	2	22
45 副腎白質ジストロフィー	0	0	1	1	1	0	1	0	4
合計	1,995	6,895	22,656	31,853	38,164	59,529	62,870	55,826	283,424

図1. 受給者数性比(男/女)の推移(2000年度、1997年度)
 (1997年度受給者数性比は1997年度受給者全国調査から得た)

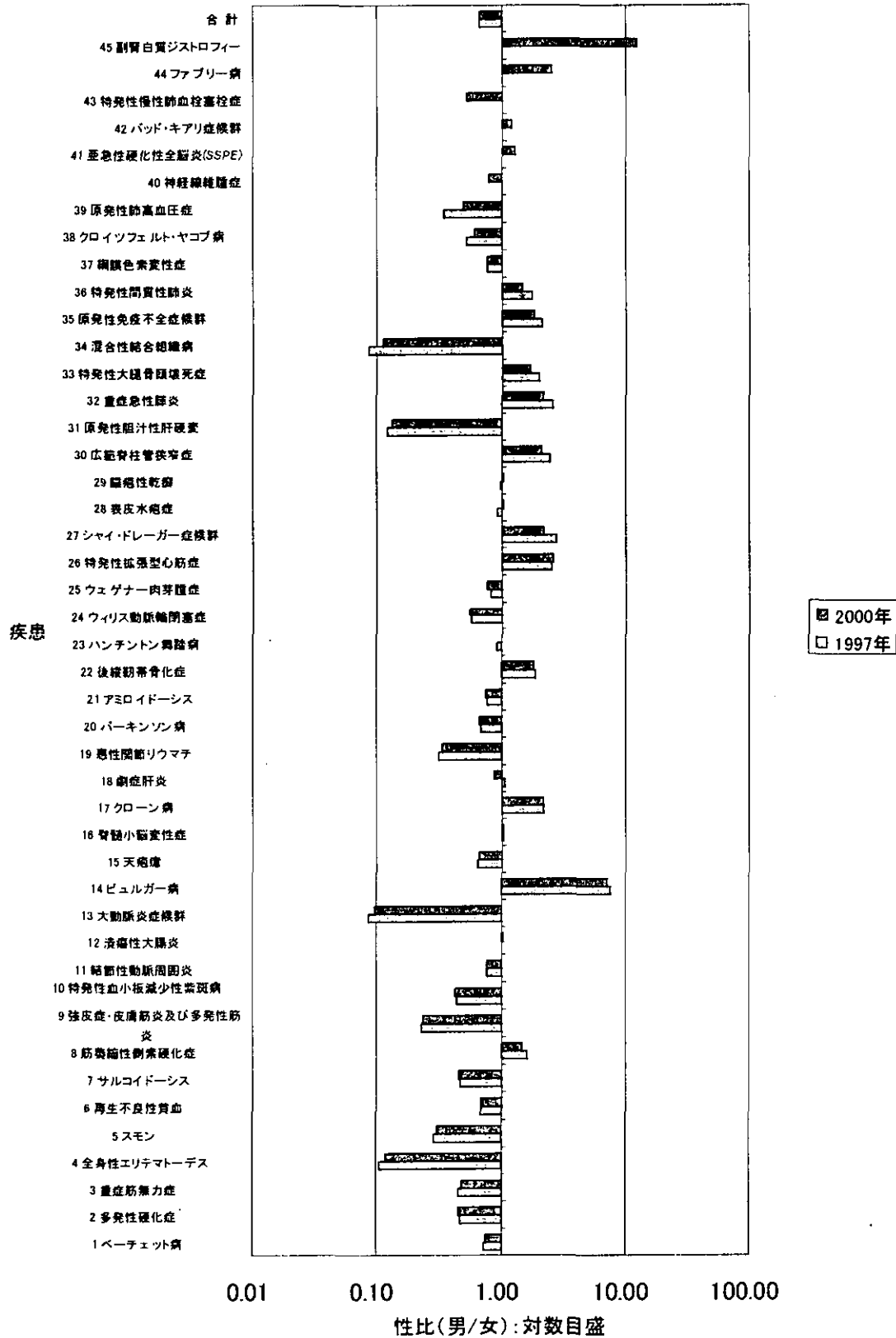


図2. 受給者数
40 神経線維腫症

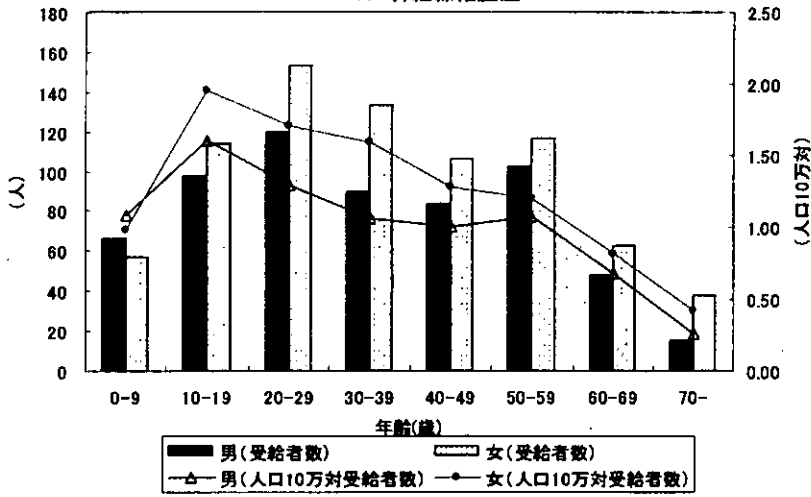


図3. 受給者数
41 亜急性硬化性全脳炎

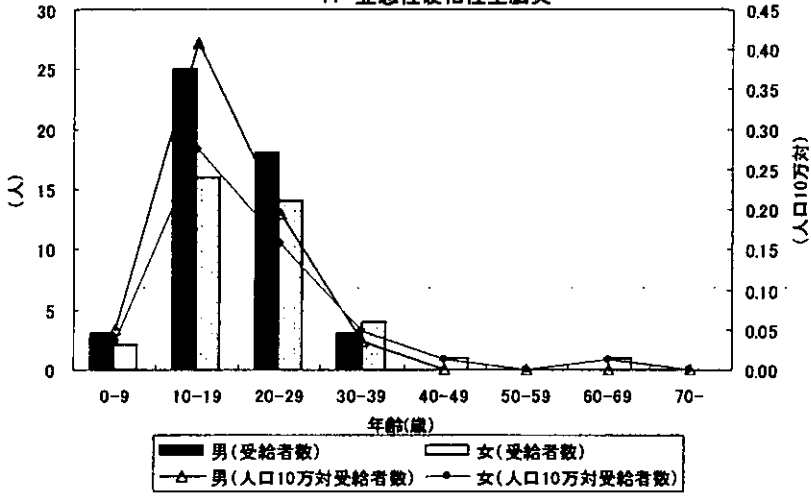


図4. 受給者数
42 バッド・キアリ症候群

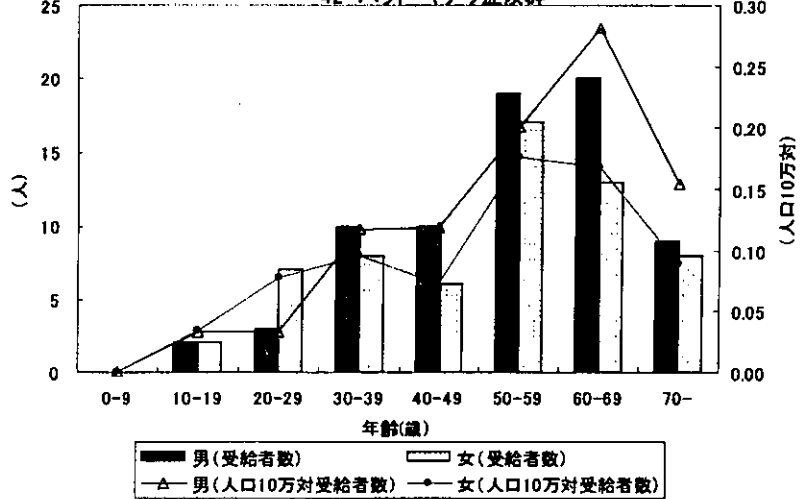


図5. 受給者数
43 特発性慢性肺血栓症

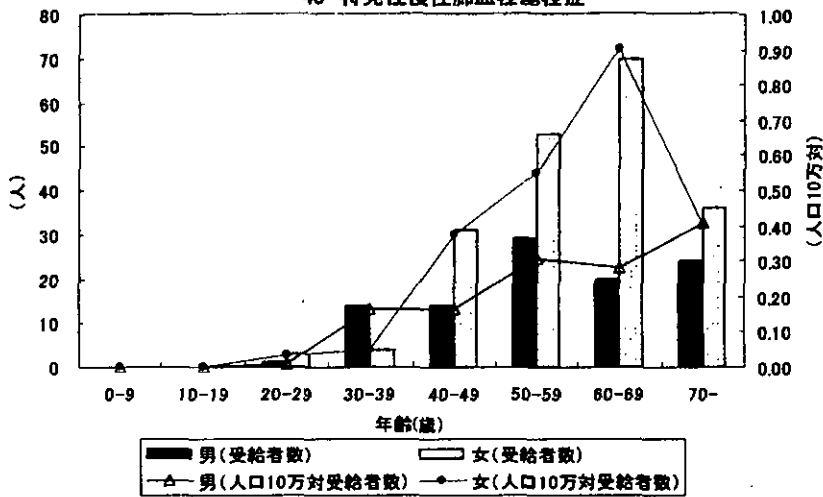


図6. 受給者数
44 ファブリー病

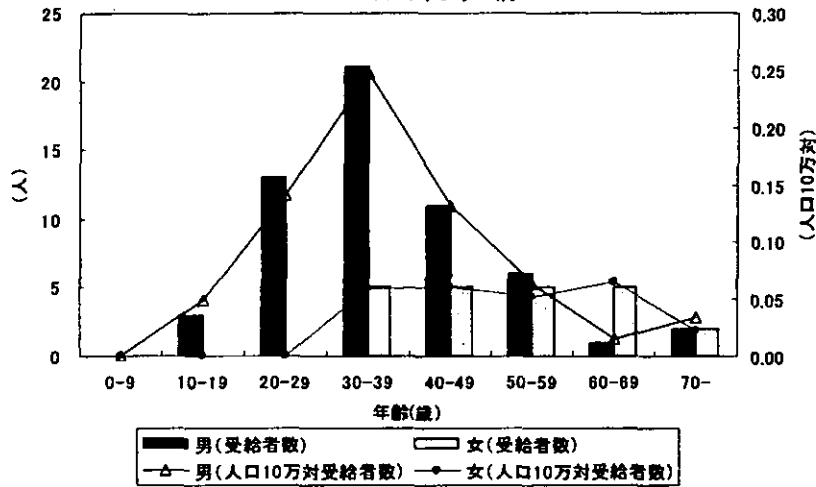
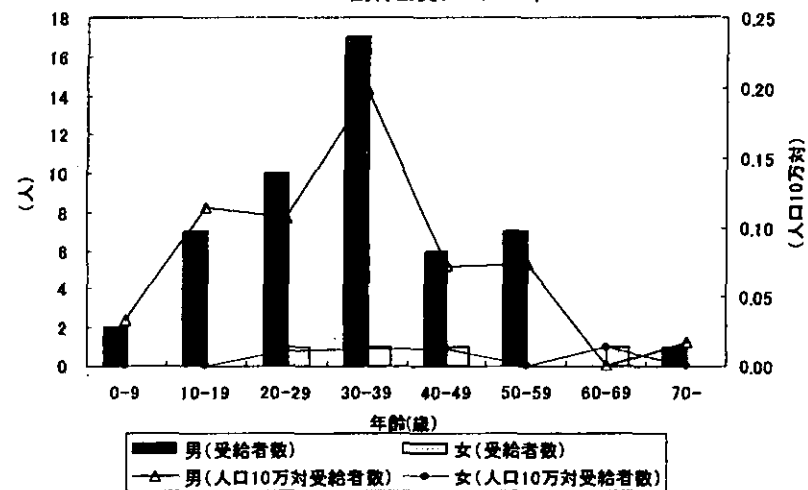


図7. 受給者数
45 副腎白質ジストロフィー



厚生労働科学研究難治性疾患克服研究事業
特定疾患の疫学に関する研究班
平成15年度総括・分担研究報告書 追補

2004年3月31日発行

主任研究者 稲葉 裕
事務局 〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1
順天堂大学医学部衛生学教室
担当者 黒沢美智子、岩佐真佐子
電話: 03-5802-1047 FAX: 03-3812-1026